

2016年12月19日

株式会社クラレ

組織改定および人事異動の件（2017年1月1日付）

当社は次の通り、2017年1月1日付の部レベルの組織改定および人事異動を行なうことを決定しましたので、お知らせします。

なお、全社的な組織改定の方針、本部レベル以上の組織改定および人事異動につきましては2016年11月24日に別途発表しております。

1. 組織改定の内容

【アクア事業推進本部】

倉敷事業所膜・モジュール生産技術開発部および西条事業所ゲル・担体生産技術開発部を一元的に統括し、課題解決や開発業務の効率化を図るため、技術統括部を新設する。

【ビニルアセテート樹脂カンパニー】

(ポバール樹脂事業部)

グローバルな組織運営のより円滑な推進と、グローバルでの品質保証の強化やサプライチェーンの合理化などを図るため、グローバルオペレーショングループを新設する。

【イソブレンカンパニー】

(イソブレンケミカル事業部)

競争が激化する化学品市場で事業拡大を図るため、独自性の高い製品開発によりリソースを配分する事業方針に沿って、鹿島事業所のイソブレン生産・技術・開発部を再編し、イソブレン生産技術部、ケミカル研究開発部とするとともに、新潟事業所のファインケミカル生産技術部とファインケミカル研究開発部を統合再編し、ファインケミカル生産・技術・開発部とする。

【機能材料カンパニー】

(機能材料カンパニー)

炭素材料事業部の発足に伴い、機能材料カンパニー各事業部の生産技術の基盤強化と技術課題に総合的かつ横断的な対応を効率的に行うため、生産技術統括グループを生産技術統括部に改組する。

(メディカル事業部)

(クラレノリタケデンタル(株))

新商品の企画立案や商品化などを強化するため、マーケティング機能を担っているマーケティング・営業本部企画開発部を社長直轄とする。それに伴い、マーケティング・営業本部を営業本部に改組する。

(炭素材料事業部)

2017年1月1日にクラレケミカル株式会社（以下、クラレケミカル）を統合し、事業の強化・拡大を目指す炭素材料事業の円滑なスタートに向けて、以下の組織体制を整備する。

1. 電池向け材料の生産・販売・開発を一体運営し、重点戦略領域であるエネルギー分野での事業確立・拡大を図るため、以下の組織変更を行う。

販売：当社の新事業開発本部のエネルギー材料事業推進部とクラレケミカルの機能商品事業部キャパシタグループおよびBHC推進室を統合再編し、電池材料営業・マーケティング部を新設する。

生産：クラレケミカルの電池材料生産にかかわる機能を再編し、電池材料生産部を新設する。

開発：クラレケミカルの研究開発センターを炭素材料研究開発部に改組する。

2. クラレケミカルの活性炭事業部、機能商品事業部（キャパシタグループを除く）、化工機事業部を、それぞれ活性炭営業部、機能商品営業部、化工機営業部に改組する。
3. 当社とクラレケミカルのスムーズかつ効率的な統合を図るため、統合推進部を新設する。
4. 炭素材料事業の拡大に必要な高付加価値加工商品の生産をより効率的に行うため、機能材加工部を新設する。

【繊維カンパニー】

(生産技術統括本部)

繊維カンパニー全体の品質保証、品質管理体制を強化し、繊維事業の基盤強化と安定化を図るため、品質保証部を新設する。

(生活資材事業部)

(クラレクラフレックス株式会社)

<フェリベンディ>（スチームジェット製法による不織布）の販売強化を図るため、S J推進部を販売第一部に統合再編する。

以上